

2022年9月29日

原料費調整に基づくガス料金の調整について (2022年11月検針分)

当社では、本日確定した2022年6月から2022年8月の平均原料価格に基づき、2022年11月検針分のガス料金(単位料金)を、2022年10月検針分に比べ1m³あたり5.27円上方に調整させていただくことになりましたので、お知らせいたします。これにより、モデル家庭(1ヶ月あたり27m³ご使用)への影響は、2022年10月検針分と比較して、142円の引き上げとなります。

○供給約款料金表^{※1}

	使用量区分	基本料金	単位料金		影響額
			2022年11月	2022年10月	
料金表A	0 m ³ から15 m ³ まで	946.00 円	245.04 円/m ³	239.77 円/m ³	+5.27 円/m ³
料金表B	15 m ³ を超え50 m ³ まで	1,454.20 円	211.16 円/m ³	205.89 円/m ³	
料金表C	50 m ³ を超え200 m ³ まで	2,013.00 円	199.98 円/m ³	194.71 円/m ³	
料金表D	200 m ³ を超え800 m ³ まで	7,700.00 円	171.55 円/m ³	166.28 円/m ³	
料金表E	800 m ³ を超える場合	9,900.00 円	168.80 円/m ³	163.53 円/m ³	

(金額は税込み)

※1：各月のご使用量に応じて、A～Eの各料金が適用されます。

○モデル家庭[※]における影響額

1ヶ月の ガスご使用量	2022年11月の単位料金 によるガス料金	2022年10月の単位料金 によるガス料金	影響額
27 m ³	7,155 円	7,013 円	+142 円

(金額は税込み)

※：モデル家庭とは、厨房および給湯にガスをお使いいただいているお客さまで、月間のご使用量を27m³で設定しています。

以上

<参考資料>

1. 平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \left(\frac{123,030 \text{ 円/トン}}{\text{LNG 平均価格}} \times 0.9503 \right) + \left(\frac{103,330 \text{ 円/トン}}{\text{プロパン平均価格}} \times 0.0546 \right) \\ &= \underline{122,560 \text{ 円/トン}} \quad (\text{10 円未満の端数を四捨五入}) \end{aligned}$$

■原料価格の動向

	2022年6月～2022年8月 <2022年11月分ガス料金に反映>	2022年5月～2022年7月 <2022年10月分ガス料金に反映>	基準平均原料価格
平均原料価格	122,560 円/トン	111,160 円/トン	66,310 円/トン
LNG平均価格	123,030 円/トン	110,680 円/トン	
プロパン平均価格	103,330 円/トン	109,580 円/トン	

平均原料価格が現行の上限値(106,090 円/トン)を超えたため、2023年3月までの軽減措置により、超えた額の50%を以下の算定式で平均原料価格に反映いたします。

$$\begin{aligned} & (122,560 \text{ 円/トン} - 106,090 \text{ 円/トン}) \div 2 = 8,235 \text{ 円/トン} \\ & 106,090 \text{ 円/トン} + 8,235 \text{ 円/トン} = \underline{114,320 \text{ 円/トン}} \quad (\text{10 円未満の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \frac{114,320 \text{ 円/トン}}{\text{料金算定に反映する平均原料価格}} - \frac{66,310 \text{ 円/トン}}{\text{基準平均原料価格}} \\ &= \underline{48,000 \text{ 円/トン}} \quad (\text{100 円未満の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

2. 単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.084^{(\ast 1)} \times \frac{48,000 \text{ 円/トン}}{\text{原料価格変動額}} \div 100 \text{ 円/トン} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= \underline{44.35 \text{ 円/m}^3} \quad (\text{小数点第3位以下の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

	基準単位料金	単位料金調整額	2022年11月の単位料金(税込)
料金表A	200.69 円/m ³	44.35 円/m ³	245.04 円/m ³
料金表B	166.81 円/m ³		211.16 円/m ³
料金表C	155.63 円/m ³		199.98 円/m ³
料金表D	127.20 円/m ³		171.55 円/m ³
料金表E	124.45 円/m ³		168.80 円/m ³

※1 原料価格変動額 100 円/トンにつき、1 m³あたり 0.084 円調整します。

【原料費調整の概要】

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1 m³あたりの単価)を調整します。
- ・ 供給約款に定める「基準平均原料価格」と「平均原料価格(適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月間におけるLNGおよびプロパンの輸入価格より算定)」を比較して単位料金を見直します。原料価格変動額 100 円につき、単位料金を 1 m³あたり 0.084 円調整します。
- ・ 2022年10月検針分～2023年3月検針分までは、平均原料価格が現行の上限額を超えた場合、超えた額の50%を毎月のガス料金の算定に反映します(軽減措置)。

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金} + \text{単位料金} \times \text{ガスご使用}$$

↑
原料価格の変動により毎月調整します

以上